

恩師粵王先生亡き今思ふこと（一、二）

坏 博康

（一） 文語文修行發起の辭

平成二十七年四月二十九日

小生、「文語の苑」發起人に名を連ぬるも生來の怠惰故未だ嘗て投稿するなし。恩師粵王先生亡き今、己れの淺學菲才に慙愧の念堪へ難くも、暫時文語文修行に挑まんと欲す。願はくは、諸先生に御批正御指導を賜らんことを。

（平成二十七年六月十四日受附）

（二） 「我は祝允明を、汝は文徵明を習ふべし」

平成二十七年四月二十九日

平成十四年夏、神保町一心堂書店にて、粵王先生、我は秀才允明の書を暫し習はんと欲す。汝は天才徵明の書を習へ、とて店頭の「文徵明 草書千字文」を開き示して勧め給ふ。「月」の字あり、その起ち様の美に思はず見入る小生に、先生其の場にて同書を購ひ賜ひて曰く、手習ひは先づ「山」と「水」をよく習ひ、而して好みの字をよくすべし。汝は、即ち徵明の「月」をよく習ふべし、と。翌日、粵王先生、御手本として「山」と「水」の二文字を示し給へり。

爾來十三年、小生怠惰にして手習ひ遅々として進まざるも、賜はりし同書と御手本を懐かしく見る今日この頃なり。

（平成二十七年六月十四日受附）

粵王先生の「山」と「水」の御手本

文徵明の「月」

